



2月になり、少しずつ春が近づいているのを感じるようになりました。暦の上でも「立春」をむかえましたが、まだまだ寒い日が続きます。あたたかい図書室にお気に入りの本を探しに来ませんか？

2月におすすめ！ 冬のおくりもの

『空から宝物が降ってきた！ 雪の力で未来をひらく』伊藤親臣（著） 旬報社

雪を何かに利用することを意味する「利雪」という言葉を知っていますか？日本の利雪技術は、世界から注目されています。雪冷房の学校・雪冷蔵倉庫などがそうです。

『雪女』 小泉八雲（作） 平井呈一（訳） 伊勢英子（絵） 偕成社

ひどい吹雪にあり、小屋に逃げ込んだ二人の木こりは、いつのまに眠り込んでしまいました。若者が目をさますと、白装束の女が年老いた男に息を吹きかけています…日本の「怪談」をもとにしたお話です。

『星と星座の伝説 冬』 瀬川昌男（著） 小峰書店

晴れた夜、外に出て空を見あげると、そこは一面の星の海です。その星座には、いろいろな美しい物語があるのです。

『雪渡り』 宮沢賢治（作） たかし たかこ（絵） 偕成社

雪が凍って大理石よりも堅くなった日、四郎とかん子が雪の上を歩いて遊んでいると、狐も歌に入ってきて友達になり、二人は狐の幻灯会に招待されました。雪の日の美しい幻想的な情景が広がる絵本。

えほん まな エスディーゼズ 絵本で学ぼう！SDGs

16 平和と公正を
すべての人に



SDGsの目標16 平和と公正をすべての人に

平和で公正な社会を実現するためには、海外のことも知っておくことが大切です。まずは、今、世界で何が起きているのか知るために、ニュース番組を見たり、子ども新聞を読んだりしてみましょう。

『せかいのひとびと』 ピーター・スピーアー（文・絵） 松川真弓（訳） 評論社

私たちのこの地球には、いったいどんな人たちが暮らしているのだろうか？体の大きさ、肌の色、顔の形、住んでいる家、好きな遊び、話す言葉…。それぞれがちがっていることの素晴らしさを伝える大型絵本。

◆ 本でコミュニケーション

☆おすすめの本☆（藤崎先生のおすすめ）

『こどもジェンダー』 シオリヌ（著） 松岡宗嗣（監修） 村田エリー（絵） ワニブックス

ジェンダーとは、男らしいとか女らしいとか…社会や文化の中で作られた性別のことです。ジェンダーによる不平等をなくし、自分らしく活躍できる社会にするにはどうしたらよいか考えてみましょう。



《図書室からのお願い》 返却期限が過ぎている本や、家に持ち帰っている学級文庫の本などはありませんか？ 返し忘れていた本がある人は、早めに返却してください。